

# 小学部 せいかつ「おいしいスイートポテト はいどうぞ」

- ・はじめて食べるものは食べられるか不安…
- ・料理はできるようにになりたいけどドキドキする…
- ・はやく食べたいけど、順番を待たないと…

- ・クラス全員が食べられるものを見つけたい。
- ・「おいしくできたから誰かに食べてほしい」と自発的に思える瞬間が生まれるといいな…

## ①スイートポテトをつかって食べてみよう

・偏食のある児童が多いため、食べられるとわかっているさつまいも、牛乳でできる「スイートポテト」を選びました。

・材料や手順を写真で示し、食べられる食材が調理の過程でどうなっていくのかわかるようにすることで、安心して活動に臨めるようにしました。

・初めは「食べない」と言っていたAくんも、さつまいものいい香りにポジティブな一言。

いいにおい。  
おいそう。  
おいしいね。



## ②スイートポテトでお祝いしよう

・全員食べられることが分かったスイートポテトで誕生日のお祝いをするに。

・いつもは早く食べたくて涙してしまう子も家庭でも祝ってもらった経験があるから、バースデイソングが終わるまで、自分の目の前にあるスイートポテトに手を付けず、一緒に手拍子をしながらかお祝いができました。

・ろうそくが苦手なBくん。「手伝って」と教師を呼び、一緒に消すことができました。

・調理活動の達成感や満足感から一言。

(祝ってくれて)  
みんなありがとうね～



## ③スイートポテトをプレゼントしよう

・出来上がったスイートポテトを「ほかのクラスの先生にあげてこようかな」と自ら動き出したCさん。型抜きを使って可愛くできたのが嬉しくて、喜んでもらえると少し照れた表情…!

・参観日でもプレゼントをしてみました。

お母さんに渡したけれどやっぱり自分が食べたい…と葛藤する姿、渡して嬉し恥ずかしいような表情で帰ってくる姿。“他者”にもいろいろな思いをもっていることが感じられる瞬間でした。

かえしてください!



実習の先生まだもらってないからあげてくる!